

めぐる日々に 息づくもの

ふみびと

うっかり

昔から物忘れの多かった母。普段は家族が出かける時には忘れ物がないようにと、一つ一つ持ち物を確認して送り出してくる「しつかりもの」

のが多かったことを思い出します。

なのですが、自分のこととなると意外と「うっかりもの」国民的アニメの主人公のように財布を忘れて買い物に行ってしまうたり、電子レンジに夕飯のおかずを入れて温めたまま、次の日の朝まで忘れていたり、周りを笑わせてくれるような忘れもの。

それが遺伝してしまっただのか、かく言う私も物忘れにおいては数多くのエピソードがストックできるところ。そんな「うっかり」が起きると、母のせいにするかのように、ふと母のことが頭をかすめるものです。

短気な父によく当たっては嫌な思いをすることも多かっただろうに、次の日にはケロッとして何事もなかったかのよう



ように。

母の物忘れがしつかりと受け継いでしまっていることはもちろん困ることもあるのですが、そんなところは似てくれてよかったように思えます。

母からしたらそんな「うっかり」は遺伝してほしくなかったかもしれないが、嫌なことも忘れてしまふところは、一つの特技のようなもの。

辛いことも気楽に乗り越えられるようにと、母から贈られた愛情のこもった一番のギフトなのかもしれない。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだ



次回発送日

次回発送日は11月10日、25日の予定です。送りたいお手紙がある場合はそれぞれ7日と21日まで

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたいです。頂いたメッセージは個人情報伏せた上でご紹介させて頂きます。

秋時間

朝、窓を開けるとひんやりとした空気が部屋へ流れ込む。ついこの前まで迷っていた長袖も、もう迷わず手に取るようになり、厚手のカーディガンを羽織ると、それだけで心までほっと落ち着くようになった。夜になると、まだ薄い寝間着のまま布団に潜り込む。少し冷えた足先が少しずつ温

残をしまい、セーターや手袋を見

の当たり前の流れの中に、確かに自分の時間が積み重なっていることに気づく。季節がめぐるたびに、私も少しずつ変わっているのだろうか。

